

<中間停止までのプラント起動曲線>

(注) 本起動曲線は概要であり、実際の起動曲線とあわない場合もある

凡例

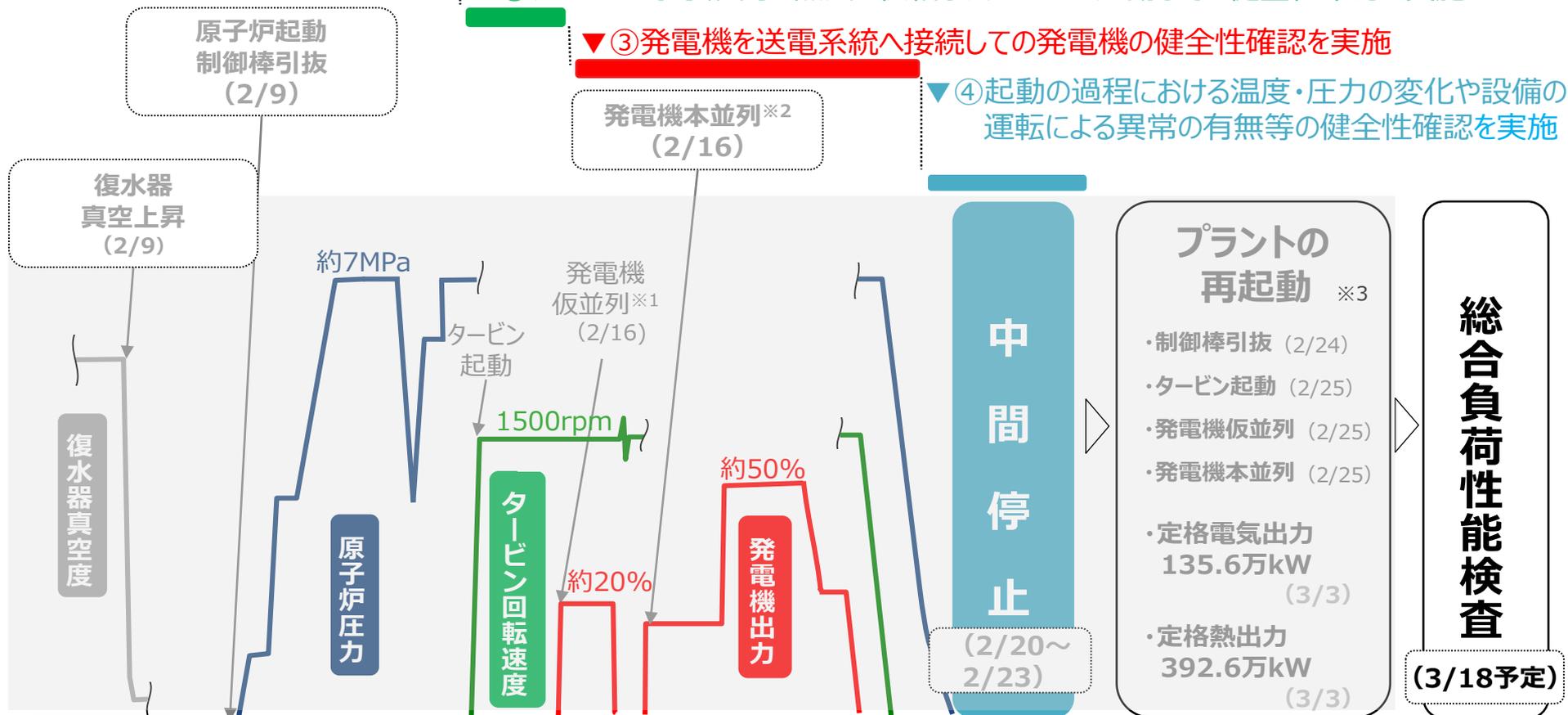
- : 復水器真空度
- : 原子炉圧力
- : タービン回転速度
- : 発電機出力

▼①原子炉を起動し高温・高圧の状況下での原子炉設備の健全性確認や原子炉内の蒸気を使用しての注水・冷却系設備の使用前事業者検査を実施

▼②タービンへ原子炉内の蒸気を供給し、タービンを起動しての健全性確認を実施

▼③発電機を送電系統へ接続しての発電機の健全性確認を実施

▼④起動の過程における温度・圧力の変化や設備の運転による異常の有無等の健全性確認を実施



※1: 発電機を試験的に送電系統へ接続
※2: 発電機を送電系統へ接続

※3: 再度原子炉、タービンを起動、発電機を送電系統へ接続し、発電機出力を定格電気出力の約100%まで上昇させる

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年3月5日		
号機	—	件名	屋外 新企業合同棟建設工事エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
<p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none">2026年3月2日午前11時40分頃、屋外の新企業合同棟建設工事エリアにおいて、協力企業作業員が、試掘作業中に足を滑らせ、試掘部の穴で左足を捻りました。 本人は痛みがなかったため作業を継続したものの、帰宅後に左足に痛みを感じ自立歩行が困難になったことから、3月3日と4日に医療機関を受診しました。 <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none">医療機関での診察の結果、「左足関節捻挫」と診断されました。① 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 <p style="text-align: right;">（2026年3月5日にお知らせ済み）</p>			

(参考) プレス公表 継続対応件名リスト

号機	-	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について (区分：Ⅲ)	公表日	2025年1月27日
号機	-	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について (区分：Ⅲ)	公表日	2025年2月28日

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 2・5号機における定期安全レビューの実施について

2026年3月12日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当発電所では「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、定期安全レビューを実施しております。

定期安全レビューとは、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、10年を超えない期間において、原子炉設置者が原子炉ごとに「原子炉施設における保安活動の実施状況」および「原子炉施設に対して実施した保安活動への最新の技術的知見の反映状況」を定期的に評価する活動です。

このたび、2号機（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット、1990年運転開始）および5号機（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット、1990年運転開始）について、第3回目の評価結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

今回実施した定期安全レビューは、2016年3月にお知らせした以来の3回目の評価であり、2014年4月1日から2024年3月31日までを対象期間として評価を行い、保安活動が継続的に改善され、安全性の維持・向上が適切に図られていることを確認しました。

今後も現状の保安活動を実施・改善していくことにより、発電所の安全性・信頼性の向上に努めてまいります。

以上

別紙：「柏崎刈羽原子力発電所 2・5号機定期安全レビュー（第3回）報告書の要旨」

柏崎刈羽原子力発電所2・5号機定期安全レビュー（第3回）
報告書の要旨

1. 当所2・5号機について

当所2・5号機は、定格電気出力110万キロワットの沸騰水型軽水炉です。2号機は1990年9月に営業運転を開始し、5号機は1990年4月に営業運転を開始しております。

これまでの運転実績は、以下のとおりです。

	2号機		5号機	
	運転開始後 累計	今回評価 期間累計	運転開始後 累計	今回評価 期間累計
累積発電電力量 (億kWh)	1219	0	1407	0
計画外停止回数 (回/年)	0.12	0	0.06	0
累計設備利用率 (%)	37.7	0	43.0	0

※ 評価対象期間末日（2024年3月31日）までの運転実績

2. 評価対象期間

2014年4月1日から2024年3月31日

3. 保安活動の実施状況の評価

「品質保証活動」「運転管理」「施設管理」「燃料管理」「放射線管理及び環境モニタリング」「放射性廃棄物管理」「事故・故障等発生時の対応及び緊急時の措置」「健全な安全文化を育成及び維持するための活動」について、各保安活動の改善状況を評価しました。

その結果、改善する仕組みが妥当であると判断しました。主な判断理由は以下の通りです。

- ・自主的に実施した改善が継続していること。
- ・不適合事象や指摘事項等に対する改善活動が実施済みであるか、実施中、もしくは計画済みであること。
- ・不適合事象や指摘事項等に対する改善活動が継続していること。

- ・同様な不適合事象や指摘事項等が再発していないこと、もしくは、再発しているが更なる改善が図られていること。

なお、評価期間中に改善を実施した主な内容は以下のとおりです。

[品質保証活動]

- ・原子力人財育成センターの設置
- ・セキュリティ管理部の設置 等

[運転管理]

- ・運転上の意思決定（ODM）※運用ガイドの導入
- ・コア技術抽出による若年層運転員の人財育成・力量向上 等

※プラントに異常徴候が認められるが、承認された手順書（例：警報発生時操作手順等）では、明確に定義されないプラントの安全性や運転の信頼性が低下する状態に適切に対応するための意思決定であり、プラントを安全な状態で管理し、効果的な方法で解決するために実施する。

[施設管理]

- ・協力企業と一体となった施設管理への取り組み
- ・モバイル設備管理グループの設置
- ・コンフィグレーションマネジメントグループの設置 等

[燃料管理]

- ・燃料交換機直営運転員の教育・訓練 等

[放射線管理及び環境モニタリング]

- ・ALARA※レビュー会議の開催 等

※1977年に国際放射防護委員会が勧告したで示した放射線防護の基本的考えであり、「as low as reasonably achievable」の略称（線量を合理的に達成可能な限り低くすること）

[放射性廃棄物管理]

- ・廃棄物低減プログラムの実行 等

[事故・故障等発生時の対応及び緊急時の措置]

- ・ 国、地方公共団体及び関係機関への通報連絡体制の強化 等

[健全な安全文化を育成及び維持するための活動]

- ・ 安全と品質達成のための行動基準の定着活動の実施
- ・ 安全文化モニタリングパネルの開始 等

4. 保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

保安活動への最新の技術的知見（安全研究成果、国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓、技術開発成果、耐震新知見情報）の反映状況を評価した結果、原子炉施設の安全性を確保する上で重要な設備等について、最新の技術的知見を適切に反映している、反映が実施中である、もしくは反映を計画していることから安全性・信頼性の維持・向上を図っていると判断しました。

また、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、浸水防止対策の強化、電源機能の強化、注水・冷却機能の強化、水素爆発の防止、計測・監視機能の強化、緊急時体制の強化等を実施してきており、引き続き更なる安全性の向上に努めてまいります。

技術的知見の主な反映事項は以下のとおりです。

- ・ 福島第一原子力発電所事故を踏まえた対応
- ・ 当所6号機における不適切なケーブル敷設に係る対応
- ・ 北陸電力株式会社志賀原子力発電所2号機の原子炉建屋内に雨水が流入した事象に係る対応 等

今後とも原子炉施設の安全性・信頼性に関する重要な技術的知見が得られた際は、これら技術的知見を反映すべく継続して自主保安活動を実施してまいります。

以 上

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2026年3月)

2026年3月12日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況													補足説明
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止													<燃料の管理> ○ 燃料は、6号機のみ原子炉内に872体の燃料を装荷済み。その他の燃料については、各号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止													
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止													
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止													
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止													
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~2026.2.16 2026.2.19~2026.2.25 現在調整運転中	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止 中間停止による停止													
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止													

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (2月末現在)

2月	10.8%
2025年度累計	0.1%
運転開始後累計	36.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (2月末現在)

2月	9,803
2025年度累計	9,803
運転開始後累計	87,497,215

④ ドラム缶発生量(本) (2月末現在)

当月発生本数	371
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,149
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2025年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,573
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (3月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	815	2,330	47%
	刈羽村	71	219	4%
	その他	162	1,312	22%
	小計	1,048	3,861	73%
県外		133	1,678	27%
合計		1,181	5,539	—
		6,720※2		100%
協力企業社数(社)		793		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※2 参考:3月2日(月)の構内入構者数 4,786人

⑦ 来客情報(人) (2月末現在)

	2月	年度累計
地元	630	14,739
県内	369	8,279
県外	376	8,329
国外	2	166
合計	1,377	31,513

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
3月26日	定例所長会見(予定)
4月9日	定例記者説明会(予定)
<コミュニケーションブース> 3月14日~15日 長岡市「CoCoLo長岡」 3月21日~22日 上越市「イオン上越ショッピングセンター」	

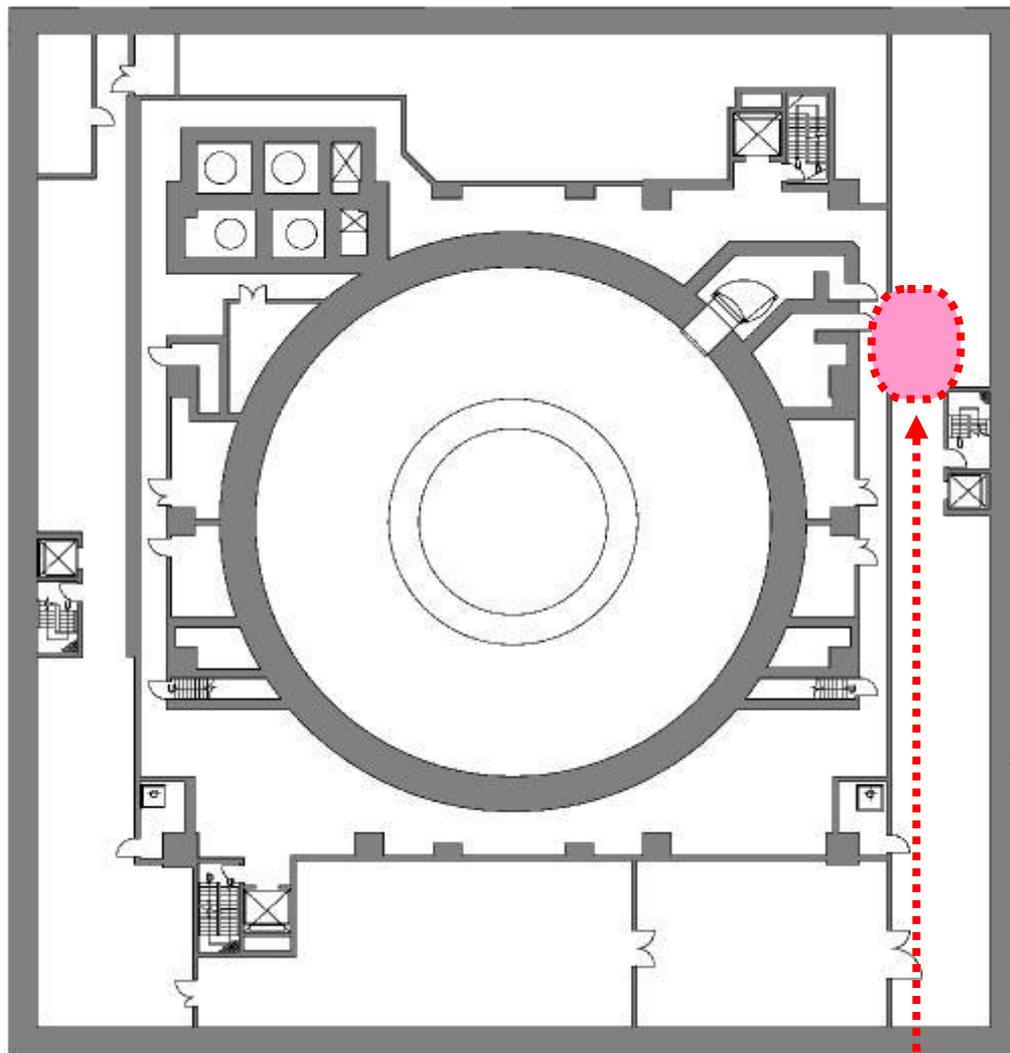
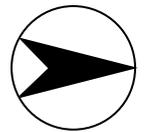
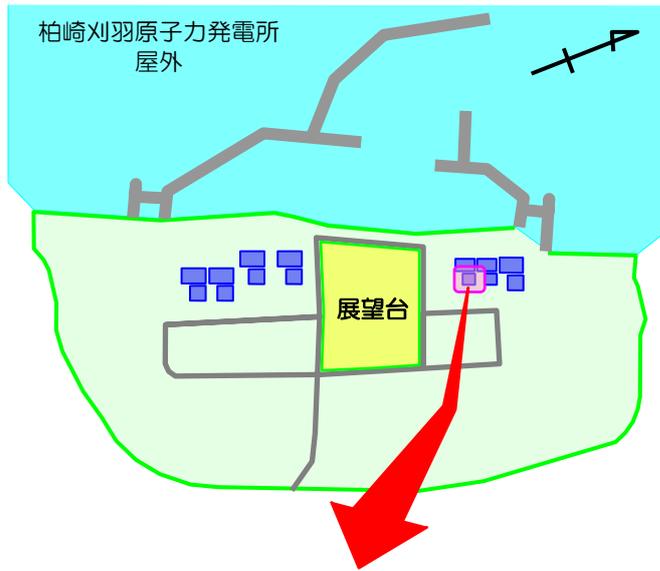
インターネットホームページアドレス
[https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-
np/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-
np/index-j.html)

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

区分：Ⅲ

号機	7号機	
件名	原子炉建屋（非管理区域）におけるけが人の発生について	
不適合の概要	<p>2026年3月11日午後3時20分頃、7号機原子炉建屋地下1階北側通路エリア（非管理区域）において、協力企業作業員がケーブル切断作業中に、右手中指をケーブルトレイと工具に挟まれ負傷しました。</p> <p>そのため、午後3時55分に業務車にて医療機関へ搬送しました。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>医療機関での診察の結果、「右中指末節骨開放骨折」と診断されました。</p> <p>今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。</p>	

発生場所概略図



柏崎刈羽原子力発電所7号機 原子炉建屋 地下1階

発生場所
(北側通路エリア)

不適合情報

2026年3月4日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	換気空調補機非常用冷却水系(B)点検後の試運転において、冷凍機(B)冷水出口温度が低下しすぎることを確認した。調査の結果、容量調整弁開度検出器の不具合と推定。当該検出器を点検・修理。	2026/02/26	
2	6号機	中央制御室において、制御棒操作監視系軽故障警報の発報を確認した。調査の結果、直流・交流変換装置電源基板メモリへの供給電源の脈動等により、メモリが不安定動作したものと推定。当該警報をリセットし復旧済み。	2026/02/27	

4. Non-CAQ 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉複合建屋(非管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/03/02	
2	3号機	換気空調系ダクト点検において、中央制御室換気空調ダクトの防火ダンパーに動作不良を確認した。当該ダンパーを交換。なお、手動により全閉動作することを確認済み。	2026/02/25	
3	3号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)南西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/02/26	
4	3号機	循環水配管マンホール用所内用圧縮空気系供給接続弁および配管・配管サポートに、腐食を確認した。当該弁および配管・配管サポートを修理。	2026/02/18	
5	4号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/02/26	
6	6号機	発電機固定子冷却水系ポンプ(A)に、吐出圧力の低下を確認した。冷却水ポンプを(B)に切替。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2026/02/28	
7	その他	大湊側屋外ヤードでの資機材運搬中に、輸送トラックから覆工板(2枚)を落下させたことを確認した。調査の結果、覆工板を固縛していなかったことが判明。当該事象の原因を特定し、再発防止対策を徹底。	2026/02/23	
8	その他	大湊側焼却炉建屋排気筒放射線モニタサンプリング装置故障警報が発報し、サンプルポンプが自動停止していることを確認した。当該事象の原因を調査し対応策を検討。なお、サンプルポンプ停止中は仮設ダストサンプラーを設置し監視。	2026/02/21	

不適合情報

2026年3月5日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	洗濯廃液系スラッジドレンタンク液位高警報の発報を確認した。調査の結果、液位指示値が瞬時に上昇／復帰していたことが判明。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2026/01/26	
2	3号機	タービン建屋(管理区域)南東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/03/02	
3	7号機	社外委託業務の実施承認手続きにおいて、承認権限者を誤って設定し処理していたことを確認した。適切な権限者を設定し、再承認済み。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を徹底。	2026/02/27	

不適合情報

2026年3月6日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	原子炉建屋屋上の電線管および端子箱に、腐食を確認した。当該電線管および端子箱を修理。	2026/02/19	
2	6号機	中央制御室において、信号入出力計算機故障の警報が発報し、待機計算機に自動切替されたことを確認した。当該事象の原因を調査し対応策を検討。なお、計算機切替によるプラント監視に影響なし。	2026/03/02	
3	その他	荒浜側高台南ヤードでのユニック車(自主設備)走行確認後の点検において、油の滴下を確認した。受けパン設置済み。調査の結果、パワーステアリング装置の配管からのオイル漏れと判明。走行ルートにも漏えい(約1リットル)していたことから、吸着マットにて拭き取りおよび中和剤を散布済み。当該装置を修理。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2026/03/04	

不適合情報

2026年3月9日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	残留熱除去系ポンプ(B)計装品点検において、作業時に地絡警報が発報したことを確認した。当該事象の原因を調査。	2026/01/16	

4. Non-CAQ 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	非常用ディーゼル発電機(A)排気管サポートの耐震補強ボルトが脱落していることを確認した。当該ボルトを回収し復旧。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2026/02/12	
2	2号機	荒浜側焼却設備建屋2階(管理区域)モニタ室のラック取替工事において、作業終了後に火災感知器の防塵キャップを取り外したところ、火報警報が発報したことを確認した。工事で発生した粉塵の影響と推定。当該感知器を交換し復旧済み。	2026/01/27	
3	3号機	計装用圧縮空気系除湿装置(A)の起動回路に不具合が発生し、起動準備運転を繰り返していることを確認した。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2026/03/04	
4	3号機	タービン建屋1階(管理区域)固定子冷却水系大気放出配管の建屋屋上貫通部から、雨水滴下および水溜り(約20cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を調査し修理。	2026/01/28	
5	5号機	タービン建屋1階(管理区域)復水ヘッドタンク室の可燃・難燃物の仮置禁止エリア内に、可燃物(塗料、廃材)が仮置してあることを確認した。当該仮置物品を仮置禁止エリア外に搬出済み。	2026/01/09	
6	その他	放射性廃棄物処理設備制御室において、荒浜側焼却設備運転操作卓の運転記録用ハードディスクレコーダーから異音の発生を確認した。当該レコーダーを調査し対応策を検討。	2026/03/01	
7	その他	荒浜側補助ボイラー第2所内蒸気系母管凝縮水排水装置に、動作不良を確認した。当該排水装置を交換。	2026/03/03	
8	その他	荒浜側焼却設備雑固体廃棄物ドラム缶固定装置のアームが、動作解除位置にあるにもかかわらず動作中を示すランプ表示になっていることを確認した。位置検出スイッチの動作確認を行い対応策を検討。	2026/01/27	
9	その他	屋外の新企業合同棟建設工事エリアにおいて、協力企業作業員が試掘作業中に足を滑らせ、試掘部の穴で左足を捻ったが、本人は痛みがなかったため作業を続けた。帰宅後に左足に痛みを感じ自立歩行が困難になったことから、3月3日と4日に医療機関を受診した結果、左足関節捻挫と診断された。当該事象を関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止対策を徹底。 【2026年3月5日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2025/2026030501p.pdf	2026/03/03	

不適合情報

2026年3月10日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	循環水建屋天井クレーンが動作しないことを確認した。調査の結果、ウインチ装置冷却ファンの電源回路電磁接触器が動作していたことが判明。当該冷却ファン電源回路を点検し対応策を検討。	2026/03/05	
2	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(B)の水抜きにおいて、海水スチームドレン移送系排水槽(B)液位高警報が発報/復帰し、ポンプの排水不良を確認した。調査の結果、排水槽内に堆積した汚泥の吸い込みによるものと推定。当該排水槽を清掃。	2026/01/27	
3	4号機	非常用ディーゼル発電機(B)排気管伸縮継手の点検において、サポート(1箇所)の位置ずれを確認した。当該サポートのずれを修正。なお、非常用ディーゼル発電機への影響なし。	2026/01/29	
4	5号機	非常用ディーゼル発電機(B)排気管伸縮継手の点検において、サポート(2箇所)の位置ずれを確認した。当該サポートのずれを修正。なお、非常用ディーゼル発電機への影響なし。	2026/03/06	

不適合情報

2026年3月11日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	7号機	原子炉建屋地下3階(管理区域)高圧炉心注水系ポンプ(B)室での作業において、火災感知器誤動作防止の処置を行っていたが、火災警報が発報したことを確認した。調査の結果、対象でない感知器に誤動作防止の処置を行い作業を行っていたことが判明。当該作業を中断。当該事象の原因を調査し再発防止対策を検討。	2026/03/05	
2	7号機	タービン建屋1階(非管理区域)東側通路において、工事エリア区画バーが保管容器に収納されず仮置されていることを確認した。当該区画バーを容器に収納済み。	2026/01/23	

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	制御棒駆動系の挿入・引抜試験において、監視用画面に制御棒(1本)の挿入・引抜表示ランプの不点灯を確認した。調査の結果、制御棒の動作に問題はなく、直流・交流変換装置内部継電器からの伝送ラインの不具合と推定。直流・交流変換装置を交換し復旧済み。当該事象の原因を調査。	2026/03/04	
2	6号機	復水器連続洗浄装置ポール回収器(B)の内部確認用アクリル製上蓋が破損(割れ)していることを確認した。当該上蓋を交換。	2026/03/06	
3	6号機	発電機水素ガスボンベ交換において、ボンベ安全弁が動作していることを確認した。調査の結果、圧力調節弁の動作不良と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2026/03/06	

核物質防護に関する不適合情報

2026年2月16日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	協力企業より、入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置をした。 また、当該入構証を申請した企業に指導を行うとともに、所内に保管管理徹底の注意喚起を行った。 なお、当該入構証の不正使用は確認されていない。	2026/1/26	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年2月24日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	当社社員が情報端末持込許可証を紛失したと警備員に報告した。 調査の結果、社員が許可証を鞆から取り出そうとした際に、強風で許可証が飛ばされた。 対策として、情報端末用のケース内に許可証を収納するよう関係者に周知した。 なお、当該許可証の不正使用等は確認されていない。	2026/1/12	

4. 公表区分その他 6件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	核物質防護上の扉の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/7/8	
2	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/11/30	
3	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換・調整し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2026/1/12	
4	監視カメラの洗浄機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2026/1/18	
5	監視用の一部照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2026/1/18	
6	核物質防護上の設備の鍵の破損を確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は、代替措置にて施錠した。	2026/1/23	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年3月2日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 8件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	監視カメラの映像が、正常に映らないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/3/6	
2	核物質防護上の扉の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/4/30	
3		2026/1/26	
4	核物質防護上の扉の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を点検し、正常な状態に復旧した。	2025/12/8	
5		2025/12/10	
6	監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2025/12/31	
7	侵入検知器取り付け部の一部で破損を確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2026/1/26	
8	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2026/1/31	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年3月9日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

1. 公表区分Ⅰ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	<p>2025年6月12日、社内からの通報を受け、「本社の情報管理責任者である社員(以下、当該社員)が、情報保護区域内で管理されるべき原子力規制委員会作成の核物質防護秘密が含まれる文書(以下、当該文書A)を情報保護区域外の自席で保管していること」をその上司が確認し、原子力規制庁に報告した。また、柏崎刈羽原子力発電所作成の核物質防護秘密が含まれる文書(以下、当該文書B)についても無断複製していた。</p> <p>調査の中で、当該社員が以下4つの行為を行っていることを確認した。</p> <p>①定められた手順を取らずに当該文書Aを情報保護区域から持ち出して複製(2回)</p> <p>②定められた手順を取らずに当該文書Aをスマートフォンで撮影し、メール本文に転記し、社内関係者に送付</p> <p>③定められた手順を取らずに当該文書Bを持ち出し、セキュリティ管理部の共用フォルダに保存</p> <p>④発電所使用パソコンと本社使用パソコンそれぞれに③で保存していたデータを格納</p> <p>当該社員は、核物質防護の運用等にかかる原子力規制庁や社内外からの問い合わせ対応が頻繁に発生し、時間をかけず、正確に回答しなければならないと考え、行ったもの。</p> <p>なお、社外への核物質防護情報の漏洩がないこと、当該社員以外で同様の複写行為等が無いことを確認している。</p>	2025/6/12	<p>【2026年2月24日公表済】</p> <p>URL: https://www.tepco.co.jp/press/release/2026/pdf/26x0801.pdf</p>

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 2件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	<p>マニュアルで作成が定められている、核物質防護に関する活動計画について、期日までに作成されていないことを確認した。</p> <p>調査の結果、計画作成の進捗を確認する仕組みが不十分であったことから、速やかに計画を作成し、定期的実施する会議の中で確認することとした。</p>	2025/10/30	
2	<p>車両点検実施時に、立入制限区域の境界門扉を開放して作業が行われており、車両点検を実施する警備員が立入制限区域に再入域する際に必要な点検を受けていなかったことから、原子力規制庁の検査官より指摘を受けた。</p> <p>対策として、車両点検時は門扉を閉鎖すること、車両点検は警備員2名体制とし、立入制限区域内外に1名ずつ配置すること、警備員は車両点検中に立入制限区域に再入域する場合でも点検を受けることとし、警備員への手順に反映した。</p>	2026/1/15	

4. 公表区分その他 4件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	<p>核物質防護上の設備に錆を確認したことから、当該設備を交換・修理し、正常な状態に復旧した。</p> <p>なお、設備の機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。</p>	2024/4/17	
2	<p>核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。</p> <p>障壁機能は維持。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。</p>	2025/12/26	
3	<p>核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。</p> <p>障壁機能は維持。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を調整し、正常な状態に復旧した。</p>	2026/1/15	
4	<p>核物質防護上の障壁の一部に破損を確認した。</p> <p>侵入検知機能は維持。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。</p>	2026/2/8	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

柏崎刈羽原子力発電所6号機の起動状況

3月4日 午後5時 ～ 3月5日 午後5時までの実施内容（実績）

項目	状況	結果・対応
○定格熱出力一定運転	実施中・済	良・調整実施・評価中

対応状況等

○プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。

3月6日 午前9時現在の状況

原子炉	運転中・停止中	炉内圧力 7.07MPa	
タービン	運転中・停止中		
発電機	発電出力 1413MW		
復水器	取水温度 13.2℃	温度差 6.0℃	
冷却水 ※1	放水温度 19.2℃		

3月5日 午後5時 ～ 3月8日 午後5時までの実施内容（予定）※2

項目

○定格熱出力一定運転

※1

発電機出力5.5MW以上のため、取放水温度（24時間平均）を記載しております。

なお、リアルタイムデータでもご確認いただけます。（<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>）

※2

定格熱出力一定運転に到達したため、今後、起動状況の更新は営業日のみといたします。（休日の実績は翌営業日にまとめて記載）

柏崎刈羽原子力発電所6号機の起動状況

3月5日 午後5時 ～ 3月8日 午後5時までの実施内容（実績）

項目	状況	結果・対応
○定格熱出力一定運転	実施中・済	良・調整実施・評価中

対応状況等

○プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。

3月9日 午前9時現在の状況

原子炉	運転中・停止中	
	炉内圧力 7.07MPa	
タービン	運転中・停止中	
発電機	発電出力 1414MW	
復水器	取水温度 12.9℃	温度差 5.9℃
冷却水	放水温度 18.8℃	
※		

3月8日 午後5時 ～ 3月9日 午後5時までの実施内容（予定）

項目

○定格熱出力一定運転

※

発電機出力5.5MW以上のため、取放水温度（24時間平均）を記載しております。

なお、リアルタイムデータでもご確認いただけます。（<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>）

柏崎刈羽原子力発電所6号機の起動状況

3月8日 午後5時 ~ 3月9日 午後5時までの実施内容 (実績)

項目	状況	結果・対応
○定格熱出力一定運転	実施中・済	良・調整実施・評価中

対応状況等

○プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。

3月10日 午前9時現在の状況

原子炉	運転中・停止中	
	炉内圧力 7.07MPa	
タービン	運転中・停止中	
発電機	発電出力 1414MW	
復水器	取水温度 11.3℃	温度差 5.9℃
冷却水	放水温度 17.2℃	

3月9日 午後5時 ~ 3月10日 午後5時までの実施内容 (予定)

項目

○定格熱出力一定運転

※

発電機出力5.5MW以上のため、取放水温度（24時間平均）を記載しております。

なお、リアルタイムデータでもご確認いただけます。 (<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>)

柏崎刈羽原子力発電所6号機の起動状況

3月9日 午後5時 ~ 3月10日 午後5時までの実施内容 (実績)

項目	状況	結果・対応
○定格熱出力一定運転	実施中・済	良・調整実施・評価中

対応状況等

○プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。

3月11日 午前9時現在の状況

原子炉	運転中・停止中	炉内圧力	7.07MPa
タービン	運転中・停止中		
発電機	発電出力	1414MW	
復水器	取水温度	11.5℃	温度差 5.8℃
冷却水	放水温度	17.3℃	

3月10日 午後5時 ~ 3月11日 午後5時までの実施内容 (予定)	
項目	
○定格熱出力一定運転	

※

発電機出力5.5MW以上のため、取放水温度（24時間平均）を記載しております。

なお、リアルタイムデータでもご確認いただけます。 (<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>)

柏崎刈羽原子力発電所6号機の起動状況

3月10日 午後5時 ~ 3月11日 午後5時までの実施内容 (実績)		
項目	状況	結果・対応
○定格熱出力一定運転	実施中・済	良・調整実施・評価中
対応状況等		
○プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。		

3月12日 午前9時現在の状況		
原子炉	運転中・停止中	炉内圧力 7.07MPa
タービン	運転中・停止中	
発電機	発電出力	1414MW
復水器	取水温度	11.2℃
冷却水	放水温度	17.1℃
※	温度差	5.9℃
3月11日 午後5時 ~ 3月12日 午後5時までの実施内容 (予定)		
項目		
○定格熱出力一定運転		

※

発電機出力5.5MW以上のため、取放水温度（24時間平均）を記載しております。

なお、リアルタイムデータでもご確認いただけます。（<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>）